

SKYMENU Cloud 活用授業 実践レポート

お名前	桑原有輝	学校名	天草市立河浦小学校（熊本県）
実施学年	5年	教科	理科
单元名	ふりこの動き		

《学びを深めたいポイント》

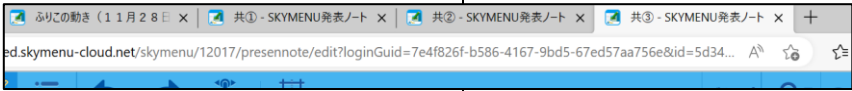
- ・他の班の実験結果を共有することで、複数の結果から考察をすることができる。
- ・見れば他の班の結果を知ることができるので、考察の時間をたっぷりと確保することができる。

《SKYMENU Cloud 活用のポイント》

- ※共有する方法はいくつかあるが、今回は資料置き場を活用しての実践を行った。
- ※他社の共同編集ができるソフトもあるが、立ち上がりに時間がかかることや児童の操作数が増えるので使用していない。
- 記録係の児童と教師がグループワークで共有し、その記録したノートを資料置き場に入れる。
（現状、児童が資料置き場に入れることができないので）
- 考察の時に、自分の班の記録、他の班の記録を資料置き場から取り出し、他の班の結果もふまえてどんなことがいえるかについて考える。（どの班も同じような結果になったから・・・と考えることができる。）
- 結果を発表して板書するという時間の削減をすることができる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU Cloud 活用場面	活用のポイント
導入	1 実験の方法を考える。 （変える条件／変えない条件の確認） ふりこの重さを変えると、1往復する時間はどうなるのか。		○計画から実験まで（単元をととして）1つの発表ノートを活用することで、いつでも確認することができるようにする。
展開	2 実験を行う。		○記録シートなども資料置き場を活用して、配付する。 （どのシートか分かりやすいように表紙をつけている。）

	(記録係の児童とノートを共有する。) 3 結果の共有を行い考察する。 考察 振り子の重さを変えると、3班とも振り子の重さを変えるごとに時間は振り子の重さに関係なく1往復する時間がほとんど変わらない結果から、振り子の重さを変えても時間はほとんど変わらないといえる。 (児童が考えた考察) 4 結論をまとめる 結論 1往復する時間は、重さに関係しないといえる。 ■ 重くしても軽くしても変わらない。 (児童がまとめた結論)	 どの班の結果が分かるように、表紙をつけて資料置き場に入れる。 14 <table border="1"> <thead> <tr> <th>振り子の重さ</th> <th>1往復する時間</th> <th>2往復する時間</th> <th>3往復する時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10g</td> <td>10.00秒</td> <td>20.00秒</td> <td>30.00秒</td> </tr> <tr> <td>20g</td> <td>10.00秒</td> <td>20.00秒</td> <td>30.00秒</td> </tr> <tr> <td>30g</td> <td>10.00秒</td> <td>20.00秒</td> <td>30.00秒</td> </tr> </tbody> </table> 15 <table border="1"> <thead> <tr> <th>振り子の重さ</th> <th>1往復する時間</th> <th>2往復する時間</th> <th>3往復する時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10g</td> <td>10.00秒</td> <td>20.00秒</td> <td>30.00秒</td> </tr> <tr> <td>20g</td> <td>10.00秒</td> <td>20.00秒</td> <td>30.00秒</td> </tr> <tr> <td>30g</td> <td>10.00秒</td> <td>20.00秒</td> <td>30.00秒</td> </tr> </tbody> </table> 16 <table border="1"> <thead> <tr> <th>振り子の重さ</th> <th>1往復する時間</th> <th>2往復する時間</th> <th>3往復する時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10g</td> <td>10.00秒</td> <td>20.00秒</td> <td>30.00秒</td> </tr> <tr> <td>20g</td> <td>10.00秒</td> <td>20.00秒</td> <td>30.00秒</td> </tr> <tr> <td>30g</td> <td>10.00秒</td> <td>20.00秒</td> <td>30.00秒</td> </tr> </tbody> </table> 自分の班と他の班の結果を比べながら、考察することができる。	振り子の重さ	1往復する時間	2往復する時間	3往復する時間	10g	10.00秒	20.00秒	30.00秒	20g	10.00秒	20.00秒	30.00秒	30g	10.00秒	20.00秒	30.00秒	振り子の重さ	1往復する時間	2往復する時間	3往復する時間	10g	10.00秒	20.00秒	30.00秒	20g	10.00秒	20.00秒	30.00秒	30g	10.00秒	20.00秒	30.00秒	振り子の重さ	1往復する時間	2往復する時間	3往復する時間	10g	10.00秒	20.00秒	30.00秒	20g	10.00秒	20.00秒	30.00秒	30g	10.00秒	20.00秒	30.00秒	○事前に、記録係の児童と共有するための発表ノートを立ち上げておくと、共有がスムーズにできる。 ※“共①”は、1班の記録者との共有用
振り子の重さ	1往復する時間	2往復する時間	3往復する時間																																																
10g	10.00秒	20.00秒	30.00秒																																																
20g	10.00秒	20.00秒	30.00秒																																																
30g	10.00秒	20.00秒	30.00秒																																																
振り子の重さ	1往復する時間	2往復する時間	3往復する時間																																																
10g	10.00秒	20.00秒	30.00秒																																																
20g	10.00秒	20.00秒	30.00秒																																																
30g	10.00秒	20.00秒	30.00秒																																																
振り子の重さ	1往復する時間	2往復する時間	3往復する時間																																																
10g	10.00秒	20.00秒	30.00秒																																																
20g	10.00秒	20.00秒	30.00秒																																																
30g	10.00秒	20.00秒	30.00秒																																																
まとめ	5 学習を振り返る。																																																		

《実践を振り返って》

- 高学年になると実験の回数や種類も増えるため、すべての班の結果を共有するとなると時間が必要だったが、今回のように資料置き場を活用することで、【課題—予想—計画—実験—結果—考察—結論】の一連の流れでノートを作成することができた。
- 結果のところでは、他の班の結果の発表ノートを資料置き場から取り出すだけで自分のノートに付け加えることができるため、いつでも他の班との結果と比べながら考察をすることができた。